

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚
「ミズマチに陽が昇る」
【撮影】鈴木百合子さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は今号3面をご覧ください。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



本多末智世さん(立花在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第70回は、民生委員・児童委員(以下、民生委員)を務める傍ら、地域食堂やまちづくりプロジェクトに参加している本多末智世さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

地域食堂「こだち」の活動を手伝っています。こだちの運営には団地周辺の民生委員や児童館職員などが携わり、毎月第3土曜日に弁当を販売しています。開店前から行列ができるほど、毎回盛況なんですよ。

また、まちづくりプロジェクト「One SUMIDA Project(ワンスミ)」にも参加しています。ワンスミでは、立花・文花地区に関わる有志が集ま

て地域の課題を共有し、それぞれが“1割の力”を持ち寄って課題解決につなげていきます。例えば、私が副会長を務める老人クラブ「立花清流会」で行っているボッチャ。普段は会員同士の親睦を深めるために行っていますが、世代を超えた交流を目的に、近所の児童館や小学校に通う子どもたちにも参加してもらっています。多世代での交流があると、もっと盛り上がりやすね。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

地域や複数の団体との関わりが深まったのは、民生委員になってからです。私は以前に青少年委員を務め、PTAや子ども会などを支援していました。その縁で民生委員に選ばれ、現在まで活動を続けています。「こだち」のお手伝いも、私がとても尊敬している先輩民生委員からのお誘いがきっかけです。民生委員として地域と関わる中で「この活動に参加しているなら、こっちもどう？」と様々な方から話が届くようになり、活動の場がどんどん広がっていきました。せ

かく届いた楽しい情報を私だけで留めておくのはもったいないので、毎朝参加しているラジオ体操などの際に友だちにも共有しています。情報の共有だけでは説得力に欠けるので、参加してみた時の感想も伝えています。私が参加して感じた楽しさを、ほかの人にも感じてもらえたら嬉しいですね。

ラジオ体操で会う95歳の元気なおばあちゃんや先輩民生委員など、お手本になる先輩がたくさんいるので、私も頑張らなくてはと思わされます。



◀地域食堂「こだち」での調理風景。写真には写っていませんが、私の姿を見た娘の夫が、活動に賛同し手伝ってくれるようになりました。助け合いの輪が広がり嬉しいです。

▶ボッチャをした際に、子どもたちがライン引きを手伝ってくれました。参加者全員で作業したので、早く準備できました。競技だけでなく何気ない共同作業が、近所で会っても挨拶できる関係性を築いていると思います。



Q. 本多さんは、すみだのどんなところが好きですか？

すみだに移り住んで50年以上経ちますが、今も昔も変わらない“嫌味のない自然なおせっかい”が本当に嬉しくて、いつも助けられています。結婚や出産を20歳頃に経験し、当時何も分からなかった私は、近所の方から色々なことを教わり、助けてもらいました。地域が私自身や子どもを育ててくれたと思っています。だから今、地域に恩

返しをしたくて、様々な活動に携わっているんです。

ほかには東京ソラマチ®が好きで、区役所での用事を済ませた帰りに寄り道することが多いです。孫とその友だちが遊びに来た時は、一緒にソラマチのイベントに参加するのも楽しみの1つです。これからもこれまでと変わらず、地域で子育てをしていきたいですね。

次回登場してくださるのは・・・

フラダンス教室「Hula Hālau 'O Heleipilinahe」を営み、区内の多くのイベントに参加している菅原琴美さんです。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

すみだ北斎美術館の入館者が150万人を突破！

墨田区長

山本亨

平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館(亀沢2-7-2)は、今年開館10周年を迎えます。こうした記念すべき年に、同館への総入館者数が150万人を突破しました。これまで、国内外から来館された皆さん、本当にありがとうございます。葛飾北斎が人生の大半を過ごした墨田区に、これほど多くの方を迎えられたのは、何よりも地域の皆様のご理解とご協力、同館の運営に携わる関係者の皆さんの努力の賜物です。

3月22日に行われた記念セレモニーでは、記念すべき150万人目の入館者と一緒にくす玉を割りました。埼玉県に住む高校2年生で、将来は美術に関する仕事に就くことを目指しているそうです。未来ある若者が墨田区を訪れ、魅力

的な北斎作品に触れてくれたことを大変うれしく思います。

また今年も、北斎ゆかりの友好都市である長野県小布施町との交流も30周年を迎えることに加えて、町内にある北斎館(長野県上高井郡小布施町小布施485)も開館から50年目となる記念の年です。友好都市との連携も含め、「北斎のまち すみだ」をより一層盛り上げていきますので、よろしくお願いいたします。

さらに、すみだ北斎美術館の近くに位置する東京都江戸東京博物館(横綱1-4-1)も、3月末にリニューアルオープンし、ますます多くの皆さんが墨田区を訪れ、大変賑わっています。

まちの誇りであるすみだ北斎美術館が、これ

からも世界中の北斎ファンや多くの区民の皆さんに愛されるよう、北斎やすみだのまちの魅力を広く発信するとともに、様々な取組を進めていきますので、引き続きご理解、ご協力をお願いします。



150万人目の入館者とご家族、美術館館長、理事長と

